農林水産省九州農政局

大分県拠点だより



令和2年3月発行 【NO.9】

「#(ハッシュタグ)」とは、SNS等で特定のテーマについて検索して一覧表示する機能のことです。 大分県内の農林水産業の中から選りすぐった旬の話題を県拠点からお届けします。

令和元年度九州地域未来につながる持続可能な農業推進コンクール

九州農政局では、農業生産活動の持続性を確保するため、農業の自然循環機能を活かし、農業生産に由来する環境への負担を低減する取組として、有機農業を始めとする環境保全型農業を推進してきたほか、食品安全、環境保全、労働安全、人権保護、農場経営管理等の持続可能性を確保するための一連の取組であるGAPを推進しています。

今回、九州地域における持続可能な農業の普及・拡大の加速化を図ることを目的として九州 農政局主催の「令和元年度九州地域未来につながる持続可能な農業推進コンクール」を実施し、 大分県立国東高等学校がGAP部門で九州農政局長賞を受賞しました。

6

九州農政局長賞(GAP部門)~ 大分県立国東高等学校の取組





【七島藺の試験栽培】

○九州の高校では初となる、JGAP認証を取得(平成24年1月)。

- ○国内唯一の産地である「七島藺(しっとうい)」の試験栽培等を 通じ森林管理や水管理を活用した古くからの循環型農業の承 継に取り組んでいる。
- ○トマト及びメロンの水耕栽培において、GAP手法に基づいた養液に海水を加えながら養液管理を行うことで、高糖度・高リコピントマト及び高糖度メロンの生産を実現。高品質及びGAP認証品としてブランド化に成功。

詳しくはこちらから

→https://www.maff.go.jp/kyusyu/seiryuu/kankyou/attach/R20317-kyushukonnku-ru.html

新型コロナウイルスに関する農林水産省からのお知らせ





農林水産省では、新型コロナウイルス感染の拡大を受け、「新型コロナウイルス対策に関する農林水産省対策本部」を設置して、国内の感染拡大を防止するとともに、今後の状況の変化に対応できる体制を整えております。

農業関係者の皆様の中で新型コロナウイルス感染者が発生した時に、 業務継続を図る際の基本的なポイントをまとめました。農林水産省は、 皆様の業務が継続できるように全面的に協力いたしますので、ガイドラ インを参考に対応していただきますようお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症発生時の対応・業務継続に関するガイドライン
→https://www.maff.go.jp/j/saigai/n_coronavirus/ncv_guideline.html

資金繰りが困難な農林漁業者の皆様に

新型コロナウィルス感染症の影響により、農林漁業経営の維持安定が困難な農林漁業者を対象に、農林漁業セーフティネット資金の貸付限度額の引上げ(「600 万円又は年間経営費の12 分の6」から「1,200 万円又は年間経営費の12 分の12」)に加え、実質無利子化、実質無担保等での貸付けを行うなど、必要な長期資金を日本政策金融公庫等が融資します。

詳しくは日本政策金融公庫HP→https://www.jfc.go.jp/n/finance/saftynet/covid_19.html

農業者との意見交換

大分県拠点では「現場と農政をむすぶ」ことを目的に生産者・事業者との意見交換を実施し、ご意見やご要望をお聞きしています。



JAおおいた蒲江花き生産組合

佐伯市で菊を中心に生産しているJAおおいた 蒲江花き生産組合と意見交換を行いました。

後継者や労働力の確保についての現状や課題、また労働力不足をカバーするためのスマート農業等について意見や要望が出されました。



※ 農林水産省では、新型コロナウイルスの影響で需要が減少している花の消費拡大を図るため、家庭や職場に春の花を飾って楽しむ「花いっぱいプロジェクト」を行っています。 県拠点にもお花を飾っています →→→

総合化事業計画の認定証交付式!

大分県拠点は令和2年2月25日に国東市役所において、令和2年 1月31日に総合化事業計画の認定を受けた厚田和好氏に対して認 定証の交付を行いました。

販売先から、賞味期限が長く保存の効く餅加工品の要望があったことから、今後は自ら生産したもち米を使用した餅加工品の開発・販売事業に取り組み、所得の向上を目指します。



【厚田氏親子(中央3名)】

ゾウさんのさとうきびプロジェクト始動!

ゾウさん、待っててね!!





大分県拠点では、「現場と共に解決する」業務の一環として、宇佐市 の動物園と生産者のマッチングを行い、アジアゾウへ給餌するさとうき びを耕作放棄地等で栽培する取り組みを支援しています。

2月5日に大分県拠点にて栽培に係る契約等を交わし、2月17日に 福岡県朝倉市でさとうきびを栽培されている生産者のご協力により現 地研修を行い、品種の特性や栽培技術についてご指導いただきまし た。今年は試験的な栽培に取り組む予定で、3月25日に苗の植え付け を行いました。

活動の状況は適時お伝えしますので、お楽しみに。

上記3つの記事については「大分の写真館」よりご覧いただけます →http://www.maff.go.jp/kyusyu/oita/oita_syasinnkan.html

【BUZZ MAFF】タガヤセキュウシュウ 日本の農林水産業を世界へ発信♪



【白石くんとノダさん】

「BUZZ MAFF」とは、農林水産省職員自らが、省公式YouTubeチャンネルでYouTuberとなるなど、担当業務にとらわれず、その人ならではのスキルや個性を活かして、我が国の農林水産物の良さや農林水産業、農山漁村の魅力を発信するプロジェクトです。

九州農政局では、白石くんとノダさんが全力で九州の農業をPRする「タガヤセキュウシュウ」を配信しています。一緒に九州探検しませんか!すこ~しためになる話もありますよ!チャンネル登録や「いいね」でご支援お願いします。

「BUZZ MAFF」はこちら→http://www.maff.go.jp/j/pr/buzzmaff/index.html